

昭和 37 年度

事業報告書

自 昭和 37 年 4 月 1 日
至 昭和 38 年 3 月 31 日

第2 別紙 (3部) 添付物

昭和38年4月30日

昭和37年度事業報告

社団法人

日本病院協会 印

(資料 1)

昭和 37 年度事業報告 (37. 4. 1 - 38. 3. 31)

社団法人 日本病院協会

第 1 庶務

1 一般事項

- 4 19 (水) 社会保険船橋病院入会
- 4 25 (水) 諏訪赤十字病院長佐藤元一郎氏短期人間ドック地方認定委員委嘱
財団法人山梨療養所 短期人間ドック実施病院に指定
- 5 25 (金) 東京都立広尾病院長河上利勝氏ベルギー・ブラッセル市に於て開催
の世界病院学会出席及び欧米病院の管理研究視察のため出発
- 5 26 (土) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定河北病院、済生会中央病院、
東京警察病院、聖路加国際病院、大船共済病院、新潟県立十日町病
院、大宮赤十字病院、富山赤十字病院、山田赤十字病院、諏訪赤十
字病院、長野赤十字病院、松江赤十字病院、足利赤十字病院、山口
県立中央病院、神戸掖済会病院、大森赤十字病院
- 5 29 (火) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
函館市立函館病院、水戸赤十字病院、仙台市立病院、仙台赤十字病
院、太田病院、名交病院、新潟県立中央病院、静岡赤十字病院、沼
津市立病院、富山県立中央病院、静岡市立静岡病院、健康保険組合
連合会大阪中央病院、大阪府済生会中津病院、大阪警察病院、総合
病院山口赤十字病院、済生会熊本病院、済生会船橋済生病院、名鉄
病院、済生会松坂病院、町立仁多病院、藤永病院、財団法人仁和会
八王子病院、国家公務員共済組合連合会九段坂病院、浜松赤十字病院
- 6 1 (金) 両毛地区公的病院連盟会長に小野康平氏就任
- 6 13 (水) 盛岡赤十字病院短期人間ドック実施病院に指定
- 6 18 (月) 京都府病院長会長に蒲田小吉氏就任
- 6 21 (木) 東京都立広尾病院長、河上利勝氏帰国

- 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
小千谷総合病院、福岡赤十字病院、旭川赤十字病院、小松島赤十字病院、健康保険宮城第一病院
- 6 26 (火) 岐阜県病院協会理事長に乾成美氏就任
- 6 29 (金) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
田谷病院、大田原赤十字病院、国立大竹病院、伊那中央総合病院、長崎県済生会病院、国立札幌病院
- 7 10 (火) 中江病院入会
- 7 14 (土) 布施市立布施市民病院、長野県須坂病院、社会保険船橋中央病院、短期人間ドック実施病院に指定
- 7 16 (月) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
三原赤十字病院、社会保険中京病院、鳥取県済生会境港病院、富士市立富士中央病院、長野県須坂病院、水戸済生会病院、新潟県立加茂病院
- 7 19 (木) 財団法人今村病院入会
- 8 25 (土) 古賀良彦氏を社会保険診療報酬支払基金理事に推薦
- 8 27 (月) 古賀良彦氏社会保険診療報酬支払基金理事に就任
- 8 28 (火) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
牧田病院、済生会京都府病院
- 8 30 (木) 西川病院、仲田外科病院、加藤病院、島田病院退会
- 9 4 (火) 常務理事内藤比天夫氏アメリカ国シカゴ市に於て開催のアメリカ病院協会総会並びにアメリカ及び欧州の病院管理、施設調査研究のため出発
- 9 12 (水) 平和記念病院入会
- 10 9 (火) 飯山赤十字病院妊婦ドック実施病院に指定
- 10 10 (水) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
長岡赤十字病院、名古屋第一赤十字病院、松下電器健康保険組合病院
- 10 15 (月) 国立舞鶴病院短期人間ドック実施病院に指定
- 10 17 (水) 大森赤十字病院長下妻堅太郎氏、豊州厚生病院水野精巳氏、東京女

- 子医大附属病院富永伊喜司氏、平和記念病院山元善晴氏欧米に於ける病院管理並びに施設調査研究のため出発
- 10 22 (木) 妊婦ドック実施病院に次記病院を指定
盛岡赤十字病院、南陽病院、鹿児島市立病院
- 11 25 (日) 大森赤十字病院長下妻堅太郎氏、豊州厚生病院水野精巳氏、東京女子医大附属病院富永伊喜司氏、平和記念病院山元善晴氏帰国
- 12 1 (土) 社会保険門司市民病院入会
- 12 11 (火) 臨床予防医学部会加盟
- 12 13 (木) 医療法人加納岩病院短期人間ドック実施病院に指定
愛媛県立三島病院妊婦ドック実施病院に指定
- 12 20 (木) 私立学校教職員組合被保険者の短期人間ドック実施につき健康保険組合連合会と覚え書調印
- 12 25 (火) 財団法人太田綜合病院妊婦ドック実施病院に指定
- 12 26 (水) 下関市立中央病院短期人間ドック実施病院に指定
- 1 10 (木) 常務理事内藤比天夫氏帰国
社会保険池袋中央病院入会
- 1 16 (水) 国民健康保険大州病院退会
- 1 31 (木) 社会保険相模野病院入会
- 2 1 (金) 八戸赤十字病院妊婦ドック実施病院に指定
- 2 15 (金) 長崎市立市民病院、社会保険相模野病院、社会保険門司市民病院短期人間ドック実施病院に指定
社会保険相模野病院妊婦ドック実施病院に指定
- 3 14 (木) 静岡厚生病院妊婦ドック実施病院に指定

第2 決議並びに陳情

1 決議

- 6 23 (土) 社会保険医療費の緊急是正に関する事項

2 陣 情

- 7 24 (火) 社会保険医療費に関する事項
- 9 6 (木) 社会保険医療費に関する事項
- 12 21 (金) 社会保険医療費に関する事項
- 12 25 (火) 社会保険医療費に関する事項
- 2 21 (木) 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する事項
- 3 23 (土) 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する事項

第 3 会 議

1 総 会

(1) 定期総会

7 20 (金) 東京都千代田区麴町1～4 東条会館

I 報告事項

(I) 昭和36年度事業報告の件

II 承認事項

(I) 昭和36年度歳入歳出決算の件

III 議決事項

(I) 昭和37年度事業計画の件

- ① 病院財政機構の改善に関する事項
- ② 医業実態調査に関する事項
- ③ 医療従事者の給与調査に関する事項
- ④ 看護要員不足対策に関する事項
- ⑤ 病院の臨床予防医学活動に関する事項
- ⑥ 病院の診療、労務、施設等の管理運営の改善向上に関する事項
- ⑦ 第12回日本病院学会開催に関する事項
- ⑧ 広報出版活動に関する事項

(II) 昭和37年度歳入歳出予算に関する事項

2 代 議 員 会

(1) 定期代議員会

7 20 (金) 東京都千代田区麴町1～4 東条会館

I 報告事項

(I) 昭和36年度事業報告の件

II 承認事項

(I) 昭和36年度歳入歳出決算の件

3 理 事 会

(1) 定期理事会

7 20 (金) 東京都千代田区麴町1～4 東条会館

I 報告事項

(I) 昭和36年度事業報告の件

II 承認事項

(I) 昭和36年度歳入歳出決算の件

(2) 定期理事会

6 23 (土) 東京都千代田区麴町1～4 東条会館

I 議事事項

(I) 病院医療経済問題に関する事項

(II) 病院争議の正当性の限界に関する事項

4 常 務 理 事 会

4 10 (火) 病院会館

- ① 社会保険医療費に関する事項 ② 公的病院の規正に関する事項 ③ 臨床予防医学に関する事項 ④ 本協会運営に関する事項 ⑤ 病院学会に関する事項 ⑥ 看護制度に関する事項

- 4 24 (火) 病院会館
① 本協会定款に関する事項 ② 社会保険医療費に関する事項
③ 臨床予防医学に関する事項 ④ 入会病院承認に関する事項
⑤ 本協会代表者海外派遣に関する事項 ⑥ 看護制度に関する事項
- 5 8 (火) 病院会館
① 社会保険医療費に関する事項 ② 臨床予防医学に関する事項
③ 看護業務の研究に関する事項 ④ 短期人間ドック研究会に関する事項
- 5 22 (火) 病院会館
① 総会開催に関する事項 ② 社会保険医療費の是正に関する事項
③ 甲表の平均薬価に関する事項 ④ 短期人間ドック実施病院講習会に関する事項
⑤ 短期人間ドック実施病院認定に関する事項 ⑥ 病院実態調査に関する事項 ⑦
看護業務の研究に関する事項 ⑧ 本協会会報に関する事項
- 6 12 (火) 病院会館
① 総会開催に関する事項 ② 理事会開催に関する事項
③ 地方病院協会会長、特定病院団体長会合同会議に関する事項
④ 地域差撤廃に関する事項 ⑤ 診療報酬請求事務に関する事項
⑥ 妊婦ドック実施に関する事項 ⑦ 病院学会に関する事項
- 6 26 (火) 病院会館
① 総会開催に関する事項 ② 理事会並びに地方病院協会会長、
特定病院団体長会の決定事項に関する事項 ③ 短期人間ドック
セミナーに関する事項 ④ 患者調査依頼に関する事項
⑤ 病院学会に関する事項
- 7 10 (火) 病院会館
理事会、代議員会、総会に関する事項 ② 臨床予防医学に関する事項
③ 医療費改訂につき病院経済委員会の検討事項に関する事項
④ 病院学会に関する事項 ⑤ 医育機関病院

管理学会に関する事項 ⑥ 看護業務分析に関する事項

⑦ 本協会入会病院に関する事項

7 24 (火)

病院会館

① 理事会、代議員会、総会の決定事項に関する事項 ② 社会保険医療費引上げに関する事項 ③ 地域差撤廃に関する事項 ④ 病院学会に関する事項 ⑤ 本協会入会病院に関する事項

8 14 (火)

病院会館

① 医療従業員の給与に関する事項 ② 基準看護に関する事項 ③ 妊婦トックに関する事項 ④ コレラ防疫対策に関する事項 ⑤ アメリカ病院協会総会に本協会代表出席に関する事項

8 28 (火)

病院会館

① 地域差撤廃に関する事項 ② 社会保険診療報酬支払基金理事に関する事項 ③ 臨床予防医学に関する事項

9 11 (火)

病院会館

① 社会保険医療費に関する事項 ② 臨床予防医学に関する事項 ③ 看護婦対策に関する事項 ④ 愛の血液運動協賛に関する事項 ⑤ 薬品使用状況に関する事項

9 25 (火)

病院会館

① 地方病院協会長、特定病院団体長懇談会開催に関する事項 ② 国家公務員のペアに伴う医療費引上げに関する事項 ③ 病院勘定科目に関する事項 ④ 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する事項 ⑤ 病院管理視察研究に関する事項 ⑥ 成人病基礎調査協力に関する事項 ⑦ 欧米渡航者に関する事項 ⑧ 病院管理懇談会に関する事項

10 9 (火)

病院会館

① 社会保険医療費引上げに関する事項 ② 短期人間ドック指導指針に関する事項 ③ 看護婦不足対策に関する事項 ④ 病院労務対策に関する事項 ⑤ 医師需求調査に関する事項

- ⑥ 病院管理視察研究に関する事項
- 1 0 2 3 (火) 病院会館
 ① 地域差撤廃に関する事項 ② 基準療具に関する事項
 ③ 妊婦ドックに関する事項 ④ 病院管理視察研究に関する事項
- 1 1 1 3 (火) 病院会館
 ① 社会保険医療費に関する事項 ② 臨床予防医学に関する事項
 ③ 第2回病院管理視察研究に関する事項 ④ 第13回日本病院学会に関する事項
- 1 1 2 7 (火) 病院会館
 ① 団体別、経営主体別医療機関の経営実態に関する事項 ② 第5回短期人間ドック研究会開催地に関する事項
 ③ 短期人間ドック実施指針中一部補正に関する事項 ④ 短期人間ドック実施病院指定に関する事項
 ⑤ 第13回日本病院学会に関する事項
- 1 2 1 1 (火) 病院会館
 ① 社会保険医療費改訂の率に関する事項 ② 社会保険医療費引上げに関する要望書に関する事項
 ③ 私立学校教職員共済組合の短期人間ドック実施に関する事項 ④ 臨床予防医学部会加盟に関する事項
 ⑤ 入会々員に関する事項
- 1 2 2 5 (火) 病院会館
 ① 社会保険医療費引上げに関する要望書提出に関する事項
 ② 短期人間ドック被検者の調査に関する事項
- 1 8 (火) 病院会館
 ① 社会保険医療費に関する事項 ② 本協会定款に関する事項
 ③ 医療制度に関する事項 ④ 病院診療管理部会に関する事項
 ⑤ 病院公衆衛生活動に関する事項 ⑥ 病院医療費研究に関する事項
 ⑦ 病院管理視察研究に関する事項 ⑧ 国際病院活動に関する事項
 ⑨ 出版事業に関する事項
- 1 2 2 (火) 病院会館

- ① 地域差撤廃に関する事項
- ② 病院勘定科目に関する事項
- ③ 定款中一部改正に関する事項
- ④ 臨床予防医学に関する事項
- ⑤ 会員入会に関する事項

2 12 (火) 病院会館

- ① 初診料再診料に関する事項
- ② 妊娠中毒症に関する事項
- ③ 診療報酬請求事務に関する事項
- ④ 臨床予防医学に関する事項
- ⑤ 医療制度研究調査に関する事項
- ⑥ 定款中一部改正に関する事項

3 12 (火) 病院会館

- ① 定款中一部改正に関する事項
- ② 理事会、代議員会、総会開催に関する事項
- ③ 医療制度研究調査に関する事項
- ④ 臨床予防医学に関する事項
- ⑤ 病院視察旅行に関する事項

3 26 (火) 病院会館

- ① 理事会、代議員会、総会開催に関する事項
- ② 定款中一部改正に関する事項
- ③ 医療制度研究調査に関する事項

5 地方病院協会長、特定病院団体長合同会議

6 23 (土) 東京都千代田区麴町1～4 東条会館

I 議 題

- (I) 病院医療経済問題に関する事項
- (II) 病院争議の正当性の限界に関する事項

9 28 (金) 東京都文京区湯島6～29 そのだ

I 議 題

- (I) 地域差撤廃に関する事項
- (II) 社会保険医療費改訂の時期と改訂率に関する事項
- (III) 病院勘定科目に関する事項
- (IV) 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する事項

(V) 昭和38年度日本病院学会開催に関する事項

6 社会保険診療報酬支払基金理事会 (古賀良彦氏)

- 4 30 (月) 社会保険診療報酬支払基金(160回)
① 諸報告に関する事項
- 5 28 (月) 社会保険診療報酬支払基金(161回)
① 諸報告に関する事項
- 6 25 (月) 社会保険診療報酬支払基金(162回)
① 諸報告に関する事項
② 昭和36年度社会保険診療報酬支払基金事業状況報告書及び財産目録に関する議決に関する事項
- 7 30 (月) 社会保険診療報酬支払基金(163回)
① 諸報告に関する事項
② 政府の管掌する健康保険、日雇労働者健康保険、船員保険の契約に関する議決事項に関する事項
- 8 20 (月) 神奈川県足柄下郡箱根町 多加乃(164回)
① 諸報告に関する事項
- 8 27 (月) 社会保険診療報酬支払基金(165回)
① 理事長互選に関する事項
- 9 24 (月) 社会保険診療報酬支払基金(166回)
① 諸報告に関する事項
- 10 29 (月) 社会保険診療報酬支払基金(167回)
① 諸報告に関する事項
- 11 21 (月) 社会保険診療報酬支払基金(168回)
① 諸報告に関する事項
② 地方公務員共済組合法の施行に伴う保険者との契約に関する議決に関する事項
- 12 17 (月) 社会保険診療報酬支払基金(169回)
① 諸報告に関する事項

- 1 28 (月) 社会保険診療報酬支払基金(170回)
① 諸報告に関する事項
- 2 25 (月) 社会保険診療報酬支払基金(171回)
① 諸報告に関する事項
- 3 25 (月) 社会保険診療報酬支払基金(172回)
① 諸報告に関する事項
② 議決事項
(1) 事務費単価改訂に伴う保険者との契約の一部改訂
(2) 昭和37年度事務費歳入歳出補正予算
(3) 昭和38年度事務費歳入歳出予算
7. 病院診療管理部会 (世話人 小野田参与)
- 4 17 (火) 本間外科病院 東京都渋谷区神宮通1~17
① 単科病院の診療管理(35回)
- 5 15 (火) 整肢療護園 東京都板橋区根の上町2978
① 肢体不自由児病院の診療管理(36回)
- 6 19 (火) 晴和病院 東京都新宿区弁天町74
① 神経科病院の診療管理(37回)
- 9 18 (火) 河北病院 東京都杉並区阿佐谷4~916
① 私立病院の診療管理(38回)
- 10 30 (火) 聖路加国際病院 東京都中央区明石町14
① 診療の監査(39回)
- 11 20 (火) 荘病院 東京都板橋区板橋町1~2411
① 今後の私的医療機関の経営方針(40回)
- 12 18 (火) 虎の門病院 東京都港区赤坂葵町2
① 病院図書室(41回)
- 1 29 (火) 日本赤十字社中央血液銀行 東京都渋谷区宮代町1
① 輸血管理(42回)
- 3 2 (土) 浜松市医師会中央病院 静岡県浜松市富塚町御前谷386

- ① 浜松市医師会が運営するオープン式病院(43回)
- 3 28 (木) 聖路加国際病院 東京都中央区明石町14
- ① レジデント(病棟医)制度(44回)

第4委員会

1 病院経済委員会(委員長 神崎副会長)

- 5 23 (水) 病院会館
- ① 病院医療費に関する事項
- 6 9 (土) 病院会館
- ① 病院医療費に関する事項
- ② 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する事項
- 7 6 (金) 病院会館
- ① 病院の立場から社会保険診療報酬は何程引上げるべきか
- ② 現行診療報酬点数表につき特に是正を要する不合理な点に関する事項
- 8 21 (火) 病院会館
- ① 国家公務員給与改訂に伴う病院経済対策に関する事項
- ② 診療報酬請求事務簡素化に関する事項
- ③ 医師の需求調査に関する事項
- ④ 病院医業経済実態調査に関する事項
- 9 5 (水) 病院会館
- ① 国家公務員給与改訂に伴う病院経済対策に関する事項
- ② 病院勘定科目に関する事項
- 9 24 (月) 病院会館
- ① 病院医療費に関する事項
- 10 16 (火) 病院会館
- ① 病院医療費に関する事項
- ② 病院勘定科目に関する事項

- 11 17 (土) 病院会館
- ① 37年度団体病院の推定決算額に関する事項
 - ② 社会保険医療費に関する事項
- 1 18 (金) 病院会館
- ① 社会保険医療費に関する事項
 - ② 病院勘定科目に関する事項
 - ③ 診療報酬請求事務簡素化に関する事項
- 2 20 (水) 病院会館
- ① 病院勘定科目統一に関する事項
 - ② 診療報酬請求事務簡素化に関する事項
- 3 28 (木) 病院会館
- ① 病院勘定科目に関する事項
 - ② 社会保険医療費に関する事項

2 臨床予防医学委員会 (委員長 橋本会長)

(1) 短期人間ドックセミナー

- 6 2 (土) 聖路加国際病院 東京都中央区明石町14
- I 肝機能検査 { 東京大学医学部講師 亀田治男氏
全 高橋聡正氏
- 6 23 (土) 聖路加国際病院 東京都中央区明石町14
- II 胃の機能検査 { 千葉大学医学部講師 白壁彦夫氏
レントゲン検査 厚生技官 河野美氏

(2) 短期人間ドック講習会

- 9 8 (土) 京都第二赤十字病院 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355
- ① 短期人間ドック総論
 - ② 検査法術式

- ③ 判定と FOLLOW UP
- ④ 短期人間ドックの事務
- ⑤ 短期人間ドックの看護
- ⑥ 短期人間ドックの運営と実施成績

(3) 短期人間ドック運営委員会

- 7. 1 (日) 病院会館
 - ① 人間ドック人口に対する標準体重表の改正
 - ② 判定基準の改正
 - ③ 成績表の新らしい集め方
- 2 2 2 (金) 病院会館
 - ① 単一ドック実施に関する事項

(4) 妊婦ドック運営委員会

- 4 7 (土) 聖路加国際病院
 - ① 妊婦ドック運営に関する事項
- 1 1 2 (金) 病院会館
 - ① 妊婦ドック実施成績に関する事項

(5) 短期人間ドック及び妊婦ドック中央認定委員会

- 4 2 5 (水) 病院会館
 - ① 短期人間ドック地方認定委員及び短期人間ドック実施病院に関する事項
- 5 2 5 (金) 病院会館
 - ① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 5 2 9 (火) 病院会館
 - ① 妊婦ドック実施病院に関する事項

- 6 1 2 (火) 病院会館
① 短期人間ドック実施病院に関する事項
- 6 2 1 (木) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 7 1 4 (土) 病院会館
短期人間ドック実施病院に関する事項
- 8 2 8 (火) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 10 9 (火) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 12 1 3 (木) 病院会館
① 短期人間ドック実施病院に関する事項
- 12 2 5 (火) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 1 2 2 (火) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項
- 2 1 5 (金) 病院会館
① 短期人間ドック及び妊婦ドック実施病院に関する事項
- 3 1 2 (火) 病院会館
① 妊婦ドック実施病院に関する事項

3 病院制度委員会 (委員長 塩沢常務理事)

(1) 看護部会 (部会長 村田常務理事)

- 5 1 5 (火) 日本看護協会 東京都渋谷区穂田町1～4
① 看護業務実施病院に関する事項
- 5 1 9 (土) 日本看護協会
① 看護業務実施病院に関する事項
- 7 8 (日) 日本看護協会
① 看護業務総合研究に関する事項

10 6 (土) 日本看護協会
① 看護業務に関する事項

3 23 (土) 病院会館
① 基準看護に関する事項
② 看護婦の教育制度に関する事項

4 広報委員会 (委員長 塩沢常務理事)

4 2 (月) 病院会館

会報91号編集

I 論 説

(I) 医療金融公庫のワクと償還期限

II 中央通信

① 医療制度調査会の審議経過概要 ② 厚生省の病院分類実施で病院火災対策を特に指導 ③ 甲表、乙表の採用状況 ④ 臨時医療報酬調査会法の審議状況 ⑤ 妊婦ドック(II) ⑥ 第12回日本病院学会予告

III 書 評

① 慶大米山教授の看護の社会学的研究を紹介する(上)

IV 海外資料

① アメリカにおける病院の現況(4)

5 1 (火) 病院会館

会報92号編集

I 論 説

(I) 医療報酬調査会設置法の流産をめぐって

II 中央通信

① 臨時医療報酬調査会法案の審議未了 ② 社会保険庁の設置決定 ③ 医療法改正案は継続審議 ④ 医療金融公庫の貸付決定 ⑤ 短期人間ドックセミナー ⑥ 第35回診療管理部会 ⑦ 看護業務の研究について ⑧ 自治体病院協議会結成 ⑨ 第12回日本病院学会予告

III 書 評

① 慶大米山教授の看護の社会学的研究を紹介する(下)

5 16 (水) 病院会館

会報93号編集

I 論 説

療養費払い(Cachindemnty)論をめぐって

II 記 事

- ① 病院における争議行為の正当性の限界 ② 肢体不自由児病院の診療管理
③ 看護婦制度についてのアンケート(静岡) ④ 病院看護助手をいかに用
うるか ⑤ 第12回日本病院学会予告 ⑥ 日本結核療養所協会総会
⑦ 書評「治療食の約束食事箋と献立の手引」

6 27 (水) 病院会館

会報94号編集

I 論 説

(I) 診療報酬の速かなる改訂を要望する

II 記 事

(I) 中央通信

- ① 理事、地方病院協会長、特定病院団体長合同会議 ② 病院等における
争議行為の正当性の限界について ③ 日本病院学会の次回開催地 ④
第4回短期人間ドック研究会 ⑤ 妊婦検診指導を診療所にも

(II) 地方通信

① 東京病院学会

(III) 特別記事

① 第1回短期人間ドックセミナー記録「肝機能検査について」

7 13 (金) 病院会館

会報95号編集

I 論 説

(I) 社会保険診療報酬支払基金理事の推薦権をめぐって

II 中央通信

- ① 西村厚相に医療費改訂を要望 ② 支払基金理事の病院代表は古賀良彦氏
に決定

Ⅲ 展望台

- ① 医療懇談会を開け、医療問題の局面打開を望む

Ⅳ 地方通信

- ① 全国公立病院連盟総会

V 特 報

- ① 第12回日本病院学会総会写真集 ② 第12回日本病院学会の記

9 1 0 (月) 病院会館

会報96号編集

I 論 説

- (I) 医療界の現状をみつめて

Ⅱ 中央通信

- ① 公的病院開設規制の医療法中一部改正 ② 支払基金役員決定 ③ 地方病院協会長及び特定病院団体長懇談会 ④ 第2回病院管理視察研究会

Ⅲ 特 集

- ① 第4回短期人間ドック研究会 ② 短期人間ドック講習会 ③ 短期人間ドック及び妊婦ドック実施病院一覧 ④ 短期人間ドック及び妊婦ドック実施加入健康保険組合

Ⅳ 地方通信

- ① 東京病院学会 ② 東京病院協会役員改選

V 展望台

- ① 憂うべき医療行政の混乱(毎日新聞)

1 0 1 (月) 病院会館

会報97号編集

I 論 説

- (I) 看護婦は納税者が養成せよ

Ⅱ 特 報

- ① 短期人間ドックの成績 ② 「病院等における争議行為の正当性の限界について」と題する労政、医務局長の連名通達を読んで

Ⅲ 中央通信

- ① 抗性物質の使用基準等の改正 ② 東京病院学会をきく ③ 私立病院の

診療管理

10 24 (水) 病院会館

会報98号編集

I 論 説

(I) 医療費問題解決のため西村厚相の決断を望む

II 中央通信

① 37年度から実施される医療監視について ② 病院経営管理指導要綱

III リポート

① 日本病院協会経済委員会便り

L 研究資料

① 看護有資格者と看護助手の比率の研究 ② 妊婦ドック実施病院追加

12 3 (月) 病院会館

会報99号編集

I 論 説

(I) 病院研究旅行の教えるもの

II 中央通信

① 第2回病院管理視察研究会の記 ② 第13回日本病院学会予告 ③
公的病院木造建物の保安度および延焼防火度調査について

III 地方通信

① 日赤病院長連盟総会に於ける病院経営の考え方に関する講演要旨

1 5 (土) 病院会館

会報100号編集

I 橋本会長の新年のことば

II 特別課題

① 国立病院論

III 中央通信

① 昭和35年度における公的病院の経営実態 ② 昭和35年度における
公的病院の経営実態についての解説 ③ 医療費の地域差撤廃の内定 ④
第13回日本病院学会予告 ⑤ 病院診療管理部会の「診療監査」

2 5 (火) 病院会館

会報101号編集

I 論 説

- (I) 日本病院協会の医療費問題に対する態度
- (II) 厚生当局への進言

II 特別課題

- ① 済生会病院論

III 中央通信

- ① 輸血管理 ② 薬価基準の一部改正

IV 地方便り

- ① 東京病院学会を聞く

V 資 料

- ① 医業歯科医業に関する広告の制限

VI 海外便り

VII 展望台

- ① 医療費を算定するルールを確立せよ

VIII 第13回日本病院学会予告

3 5 (火) 病院会館

会報102号編集

I 論 説

- (I) 当面した医療費問題

II 特別課題

- (I) 結核療養所論

III 中央通信

- ① 看護婦不足対策について林参議院議員が当局を追求 ② 病院診療管理部会(オープン制病院浜松市医師会中央病院見学記) ③ 病院緑化運動 ④ 第13回日本病院学会 ⑤ 短期人間ドック、妊婦ドック実施病院の指定及び加入組合追加 ⑥ 社会保険診療報酬請求事務簡素化に関する要望書

IV 展望台

- (I) 圧力に屈する政治

V 海外通信

(I) 第13回国際病院会議

第5 日本病院学会

1 第12回日本病院学会 会長 栗山重信氏

7. 18 (水)

(1) 専門集会

I 病院建築設備 病院管理研究所

① 病院建築の動きと今後の問題

座長 吉武泰水氏 東京大学教授

II 病院公衆衛生活動 病院管理研究所

① 病院内汚染防止の問題

座長 永沢滋氏 日本大学医学部学長

III 看護 聖路加国際病院

① 病院看護婦の行うべき看護業務

座長 金子光氏 東京大学助教授

IV 診療 聖路加国際病院

① 中央検査室

座長 小野田敏郎氏 日本病院協会参与、東京警察病院医長

V 給食 虎の門病院

① 病院給食チームの構成とそれぞれの職種の活動分野

座長 原素行氏 病院管理研究所講師

VI 病院事務 虎の門病院

① 病院における給与体系のあり方と実態

座長 石原信吾氏 虎の門病院事務長

(2) 日本病院学会総会

7. 19 (木) 東京都千代田区平河町2～6 都市センター

I 一般演説

- ① 府県別病院数の年次変動について
- ② 医師の分布と医療機関の分布に関する実態分析についての研究
- ③ 病床利用率について
- ④ 在院に関する研究
- ⑤ 長期療養施設の入院期間
- ⑥ 病院外来の来院間隔
- ⑦ 疾病の Entropy
- ⑧ 都内総合病院の診療圏
- ⑨ 診療センターについて
- ⑩ グループ プラクティスについて
- ⑪ オープンシステム病院の調査報告
- ⑫ 大学、総合、単科、各病院の勤務医について
- ⑬ 転換期にある開業医のあり方特に私立病院の反省について
- ⑭ 岩手県立病院の会議制度の統計的観察
- ⑮ 病院診療業務の自己評価
- ⑯ 病院における麻酔科のあり方
- ⑰ 病院の夜間勤務の業務内容について
- ⑱ アメリカにおける重症医療 (Intensive Care) の管理組織について
- ⑲ 看護サービスに関する研究——入院サービスに対する患者の意見についての考察
- ⑳ 外科病棟の回復室の管理について
- ㉑ 虎の門内科外来における患者のとりさばき方式について
- ㉒ 看護員必要数算定についての一考察
- ㉓ 結核療養所における看護業務の実態調査について
- ㉔ 卒業後の看護婦の院内教育
- ㉕ 進学コース看護教育内容の統計的研究

II 特別報告

- ① 国際病院会議に出席して

III 専門集会報告

(I) 看護

- ① 病院看護婦の行なうべき看護業務

ニ ハネルデイスカッション

- ① 病院と救急対策

7. 20 (金) 東京都千代田区平河町2～6 都市センター

I 一般演説

- ②⑥ 病院の性格とその公衆衛生活動
- ②⑦ 群馬県の農村における病院の公衆衛生活動について
- ②⑧ (補) アンケートより見た長期及び短期ドック
- ②⑨ 公立刈田病院における公衆衛生活動第2報
- ③⑩ 蔵王山麓僻地学童における栄養調査について
- ③⑪ クレゾールのブドウ球菌殺菌濃度と常用溶液の比色定量について
- ③⑫ 小児科の色彩調節の経験
- ③⑬ 手術室の空気調節の実態につ

いて ③④ 透視手術可能整形手術室新設計について ③⑤ 精神病院における病棟建築の一試み ③⑥ 厨房設備の建築プラン化に関する研究 ③⑦ 外科手術後食の食餌管理 ③⑧ 野菜及び芋類の廃棄率調査について ③⑨ 病院給食業務の合理化について—考察— パートタイム制の採用 ④⑩ 患者の生活からみた病室の分け方、組み合わせ方—続— ④⑪ 病院における人間関係に関する研究 ④⑫ 勤務医師の給与手当に関する一考察 ④⑬ 病院給与計算業務の機械化 ④⑭ 病院における収入支出及び労務費について ④⑮ 開院後3年間における退職者の実態について ④⑯ 病院における医療材料 ④⑰ 公立刈田病院における購入在庫管理について ④⑱ 虎の門病院で実施した備品管理の1方式について ④⑲ 診療報酬請求事務の簡素化について

II 専門集会報告

(I) 公衆衛生

① 病院内汚染防止の問題

(II) 診療

① 中央検査室

(III) 建築

① 病院建築の動きと今後の問題

(IV) 給食

① 病院給食チームの構成とそれぞれの職種の活動分野

(V) 事務

① 病院における給与体系のあり方と実体

2 日本病院学会評議員会

5 26 (土) 東京警察病院 東京都千代田区富士見町2～3

I 議事事項

(I) 第12回日本病院学会専門集会に関する事項

(II) 第12回日本病院学会総会に関する事項

7 18 (水) 都市センター 東京都千代田区平河町2～6

I 議事事項

(I) 第12回日本病院学会総会に関する事項

- (II) 第11回日本病院学会計理に関する事項
- (III) 第13回日本病院学会開催地に関する事項
- (IV) 日本病院学会々則中一部改正案に関する事項
- (V) 日本病院学会評議員会評議員追加選任に関する事項

内藤比天夫氏、成内頼三郎氏、額田森氏、前田信雄氏、伊藤誠氏、桜井省吾氏を選任

11. 21 (水) 虎の門病院 東京都港区葵町2

I 議事事項

- (I) 第13回日本病院学会準備に関する事項
- (II) 日本病院学会評議員会評議員追加選任に関する事項
奥田義正氏を選任

第6 第4回短期人間ドック研究会 (司会 小野田参与)

9. 9 (日) 京都第二赤十字病院 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355

1 演 題

- ① 短期人間ドックに於ける尿濃縮テストの実施成績 ② 短期人間ドックに於ける臨床検査成績と胃カメラ像の関係(副題 胃カメラの診断価値に関する検討)
- ③ 短期人間ドックに於ける Obesity と Obey weight の関係 ④ 短期人間ドックの肝機能 ⑤ 肝機能異常の頻度 ⑥ 全国55病院・6000例の短期人間ドック成績の統計的観察 ⑦ 短期人間ドックに於ける血清トランスアミナーゼの測定について ⑧ ドック成績より見た体質に関する研究 ⑨ 聖路加国際病院に於ける短期人間ドックの経験 ⑩ 短期人間ドックのFollow up について ⑪ 短期人間ドック受診者の死亡例の検討 ⑫ アンケートによる短期人間ドックの受診後の発病状況 ⑬ ドック管理上考えさせられる2, 3の問題

第7 第2回病院管理視察研究会

1 京都市内

11 8 (木)

- I 国立京都病院 京都市伏見区深草向畑町官有地
- II 京都府立医科大学附属病院 京都市上京区河原町広小路梶井町4 6 5
- III 京都第二赤十字病院救急分院 京都市中京区御池通高倉西入る高宮町

2 大阪市内

11 9 (金)

- I 大阪府済生会中津病院 大阪市北区芝田村町3 8 ~ 5
- II 住友病院 大阪市北区中の島5 ~ 1 5
- III 大阪赤十字病院 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5 0

3 神戸市内

11 10 (土)

- I 川崎病院 神戸市兵庫区東山町3 ~ 2
- II 神戸市立中央市民病院 神戸市生田区加納町1 ~ 5
- III 甲南病院 神戸市東灘区住吉町鳴子ヶ原1 ~ 1 8 4 9

第 8 報道機関会見

1 日刊新聞

- 4 5 (木) 厚生省第一記者クラブ
- 5 11 (金) 厚生省第一記者クラブ
- 6 8 (金) 厚生省第一記者クラブ
- 7 13 (金) 厚生省第一記者クラブ
- 8 3 (金) 厚生省第一記者クラブ
- 1 2 2 1 (金) 厚生省第一記者クラブ

2 医事関係報道機関

- 4 5 (木) 厚生省第二記者クラブ
- 5 1 1 (金) 厚生省第二記者クラブ
- 6 8 (金) 厚生省第二記者クラブ
- 7 1 3 (金) 厚生省第二記者クラブ

- 8 3 (金) 厚生省第二記者クラブ
9 7 (金) 厚生省第二記者クラブ
10 5 (金) 厚生省第二記者クラブ
12 21 (金) 厚生省第二記者クラブ
2 8 (金) 厚生省第二記者クラブ

昭和37年度歳入歳出決算書

(昭和37・4・1～同38・3・31)

歳入総額 7,048,910円

歳出総額 7,048,910円

社団法人 日本病院協会

歳入の部

科 目 款 項 目	歳入額	予算額	比較 (減△印)	摘 要
1.会 費	4,056,745	5,862,445	△1,805,700	収入率 69.1%
1本年度会費	2,844,860	4,560,400	△1,710,540	同 62.6%
2過年度会費	1,211,885	1,302,045	△90,565	同 93.0%
前年度会費	1,211,885	1,209,030	2,855	同 100.2%
前々年度以前会費	0	93,015	△93,015	同 0%
2.寄 付 金	0	1	△ 1	
1寄 付 金	0	1	△ 1	
3.雑 収 入	2,762,001	1,100,000	1,662,001	
1雑 収 入	2,762,001	1,100,000	1,662,001	ドック部会費 625,000円, 職業紹介手数料 101,322円, 刊行資料頒布代 1,059,712円, 払下代, 利子その他 167,267円
雑 収 入	1,953,301	500,000	1,453,301	本会々報12回分広告掲さい料
広 告 料	808,700	600,000	208,700	
4.繰 越 金	230,164	281,842	△51,678	繰越金 286,364円(預貯金 253,644円 現金 2,720円、供託金 30,000円)のところ、この内 56,200円の仮受を年度間に正当受入科目会費 8,000円、雑収入 48,200円に振替により差引決算額 230,164円
1前年度繰越金	230,164	281,842	△51,678	
2仮 受 金	(56,200)	-	-	
歳入合計	7,048,910	7,244,288	△195,378	

歳出の部

科 目 款 項 目	歳出額	予算額	比較 (減△印)	摘 要
1.事 務 費	4,236,591	4,351,600	△115,009	
1職 員 給 与	2,144,638	2,126,400	18,238	職員4人(内1名職業紹介業務に従事)及び編集事務従事者1名分
俸 給	1,500,000	1,468,800	31,200	基本給与
諸 手 当	644,638	657,600	△12,962	期末手当(2回)、時間外手当及び通勤手当
2厚 生 費	21,285	127,200	△105,915	退職手当積立 12,500円、社会保険料 8,785円
3旅 費 交 通 費	117,722	240,000	△122,278	役員及び職員の旅費、都内交通費
4物 品 費	152,270	300,000	△147,730	
備 品 費	21,250	60,000	△38,750	ガストープ、小包秤、カード箱
消 耗 品 費	131,020	240,000	△108,980	新聞雑誌購読料、法規差替料を含む
5役 務 費	1,800,676	1,558,000	242,676	

科 目	歳出額	予算額	比較 (減△印)	摘 要
款項 目				
印刷製本費	743,235	240,000	503,235	臨時刊行資料印刷による増加
通信運搬費	273,432	300,000	△26,568	郵券、電信電話、荷造運搬、乗車回数券購入等
光熱及び水料	39,144	72,000	△32,856	電気、瓦斯、水道の料金
借料及び損料	660,000	684,000	△24,000	事務所借上料月55,000円(37.3~38.2)
雑役務費	84,865	262,000	△177,135	清掃料、手数料、謝礼金、都民税、食糧費、その他雑費
2.会議費	226,296	420,000	△193,704	
1 総 会	69,150	70,000	△ 850	1回(会場借上料、速記料、茶菓、中食代等)
2 役員会	38,150	150,000	△111,850	理事会、代議員会3回(同上)、常務理事会24回
3 諸 会 議	118,996	200,000	△ 81,004	団体長、役員合同会議2回(同上)
3.事業推進費	548,150	898,000	△349,850	
1 委員会費	177,333	250,000	△ 72,667	病院制度・病院経済・臨時予防医学及び広報の各委員会、診療管理部会等
2 調査研究費	199,400	200,000	△ 600	短期ドック等の研究会、講習経費等を含む
3 資料整備費	89,662	70,000	19,662	年鑑、政府刊行資料等の購入及び翻訳料
4 渉 外 費	81,755	378,000	△296,245	
国際病院連盟費	81,755	120,000	△ 38,235	1963年会費£81及び為替料(ロンドン送金)
地方協力費	0	228,000	△228,000	
病院緑化運動協力費	0	30,000	△ 30,000	
4.広報費	1,443,712	1,490,000	△ 46,288	
1 会報発行費	1,423,712	1,440,000	△ 16,288	
編集印刷費	1,131,287	1,200,000	△ 68,713	会報90号~100号発行費
発送諸費	292,425	240,000	52,425	会報90号~99号地方発送分
2 広報雑費	20,000	50,000	△ 30,000	報道クラブ費等
5.学会費	50,000	50,000	0	
1 日本病院学会費	50,000	50,000	0	第12回日本病院学会へ
6.予備費	0	34,688	△ 34,688	
1 予 備 費	0	34,688	△ 34,688	
7.繰越金	544,161	-	544,161	38・3・31現在高(銀行預金428,986円 振替貯金76,680円 現金8,495円)
1 翌年度繰越金	514,161	-	514,161	
2 法務局供託金	30,000	-	30,000	前年度より繰越供託金
歳出合計	7,048,910	7,244,288	△195,378	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和38年4月20日

監事 矢 田 城 太 郎 ㊟

監事 神 尾 友 彦 ㊟

財産目録

昭和38年3月31日現在

資産の部

現金 午許保有高

8,495円

銀行預金 富士銀行本郷支店 250,856円

富士銀行本郷支店 154,204円

住友銀行神田支店 23,925円

428,986円

振替貯金 東京地方貯金局

76,680円

供託金 東京法務局

30,000円

電話加入権(811-4371)

250,000円

什器備品 49件

274,450円

資産合計 1,068,611円

負債の部 該当なし

差引正味資産 1,068,611円

什器備品内訳

昭和38年3月31日現在

品名	単位	数量	価格	備考
机	個	10	52,700円	平札, 社付
卓子	"	4	20,000	
椅子	脚	7	36,700	
応接セット	組	1	49,000	6点
側置 書棚	個	3	9,000	
	"	5	22,600	
ロッカー	"	1	16,000	
キャビネット	"	1	4,000	
カード箱	"	1	5,000	
宛名印刷機	台	1	5,500	
秤	"	2	3,900	
ストーブ	個	3	22,600	
現行法律集	揃	1	5,000	不除式 43冊
黒板	枚	3	11,200	
ブラインダー	式	1	8,250	簡易取付
新扇受	個	1	3,000	鉄製
計		49件	274,450	

以上監査の結果正當なるものと認めます。

昭和38年4月20日

社団法人 日本病院協会

監事	矢田城太郎
同	神尾友彦

以上承認いたします。

昭和38年4月27日

社団法人 日本病院協会

理事	橋本寛敏
同	神崎三益
同	荘寛
同	多賀一郎
同	塩沢総一
同	近藤六郎
同	村田三千孝
同	内藤比天夫
同	岡田敦男
同	宮尾啓
同	間島良二
同	佐川誠一

理事	中	島	正
同	河	合	平
同	一	見	夫
同	参	木	司
同	棚	橋	郎
同	小	野	平
同	高	橋	昇
同	久	保	善
同	島	園	次
同	根	元	清
同	小	山	儀
同	片	山	武
同	長	谷	一
同	林	川	夫
同	服	直	弘
同	入	達	敏
同	河	貞	雄
同	竹	貞	敬
同	桜	信	部
同	太	盛	郎
同	三	勇	弥
			夫
			蔵
			二
			武
			雄

理事 佐藤元一郎

菅 敬二 郎

山田 秩三 郎

秋山 勝

井上 正 吾

天野 尹

細田 忠四 郎

古玉 太 郎

武 旗 多 休

種 久 一 夫

西 岸 真 玄

田代 英 太 郎

鶴 丸 右 長

田 野 建 二

泉 谷 武 近

(以上)

(資料 3)

昭和 38 年度事業計画書 (案)

社団法人 日本病院協会

日本病院協会設立の目的は、いうまでもなく病院のはたらきをよくしていくことにある。昭和 38 年度はこの目的のために広い視野に立つて地道な仕事を進めていきたい。

病院の経済危機を如何に打開するかは、昭和 38 年度の才 1 の課題である。

診療報酬が国民所得の上昇・物価の変動に対応して、毎年適正に改正されることは極めて当然のことであつて、適正な診療報酬を決定するためのルールの確立は、われわれの齊しく待望するところであるにもかかわらず、臨時医療報酬調査会法案は成立するところとならず、それに関連して中央社会保険医療協議会の開催もその目途がたたない。従つて、すでに予算措置されている地域差撤廃すらその実現が危ぶまれ、一方病院の経済的逼迫は日増に深刻度を加えている。

昨年末病院医療費値上げに関する具体的要求を厚生省並びに関係団体に提示し、その実現を要望したのである。病院経営を合理化し、適正医療費を算出するには、病院経営内容の検討が必要で、そのためには病院の勘定科目の統一が必須条件である。近く病院経済委員会において、勘定科目に関する結論を得る筈であるので、将来は全国的規模の病院医療経済調査の速かな実施が可能となる見込みである。

医療制度・保険医療に対する基本方針を明らかにすることが本年度の才 2 の課題である。

過日医療制度調査会の答申が発表されたが、大方の批判のように必ずしも公正な意見のみではなく、また問題視されている課題の核心をついた解決策は示していない。保険制度によつて歪められ、紛糾と混迷に明けくれている日本の医療があるべき姿にするためには、本協会が日本の医療のあるべき姿を如何に考え、如

何なる方向に進まうとしているかを明確にする必要性を痛感する。目下本協会に医療制度委員会を設けて検討を開始している。

才3の課題は日本病院協会の強化である。

政治が圧力によつて歪められるような現況では、病院協会の強化なしには正しい主張もその実現が困難である。

これがため定款を改正して、趣旨に賛同する個々の病院の入会を容易にし、会員の増加をはかるとともに、協会の事業を一層拡充しなければならない。前年度に引き続き臨床予防活動を推進、診療管理に関する諸問題の研究討議・病院研究旅行等を実施するとともに、本年度は特に会報を充実し、新たに出版事業を開始し一層の前進を期する次才である。

以上の事項を実現するために次の事業を計画する。

事 業 計 画 各 項

1. 病院経済危機突破運動
2. 定款の改正
3. 医療制度に関する研究
4. 医療保険の合理化に関する事項
 病院経済実態調査適正病院医療費の設定
5. 病院の管理運営の改善向上に関する事項
 診 療 管 理
 病 院 建 築
 各種専門委員会の設置
 研 究 旅 行
6. 臨床予防に関する事項
 新たに主婦健康相談をとりあげる
7. 病院学会に関する事項
8. 広報・渉外に関する事項
9. 出版事業の強化

(資料 4.)

昭和 3. 8 年度歳入歳出予算 (案)

(38. 4. 1~39. 3. 31)

歳入 13,729,005円

歳出 13,729,005円

歳入の部

社団法人 日本病院協会

歳入科目 款項目	38年度予算額 円	前年度 (37) 予算額 円	前年度予算に 対する比較 (減△印)円	摘 要
1 会 費	5,992,640	5,862,445	130,195	
1 本年度会費	5,080,560	4,560,400	520,160	会費基準額及び病床数による付加額前年度通り
2 過年度会費	912,080	1,302,045	△ 389,965	
2 寄 付 金	1	1		
1 寄 付 金	1	1		
3 雑 収 入	7,450,000	11,000,000	6,350,000	
1 雑 収 入	4,200,000	5,000,000	△ 800,000	ドック部会費、職業紹介手数料、利子、払下代等
2 出 版 収 入	7,030,000	6,000,000	6,430,000	
刊 行 物 代	3,220,000	-	3,220,000	会報その他刊行物代
広 告 料	3,810,000	6,000,000	3,210,000	会報その他刊行物掲載広告料
4 繰 越 金	2,863,640	2,818,420	4,522	
1 繰 越 金	2,863,640	2,818,420	4,522	36年度決算額を計上。(但し職業紹介業務供託金3万円を含む。)
歳入総額	13,729,005	7,244,288	6,484,717	

歳出の部

歳出科目 款項目	38年度予算額 円	前年度 (37) 予算額 円	前年度予算に 対する比較 (減△印)円	摘 要
1 事 務 費	4,599,200	4,351,600	247,600	
1 職 員 給 与	2,016,000	2,126,400	△ 110,400	常勤現員4名分(内1名は職業紹介業務に従事) 前年度は増員1名を含む5名分計上による減
俸 給	1,386,000	1,468,800	△ 82,800	現員現給の10%増を計上
諸 手 当	630,000	657,600	△ 27,600	期末手当、時間外手当(10%増)及び通勤手当(月額最高750円)
2 厚 生 費	127,200	127,200	0	職員退職手当引当金及び社会保険料
3 旅 費 交 通 費	360,000	240,000	120,000	役員及び職員の旅費、交通費
4 物 品 費	440,000	300,000	140,000	
備 品 費	200,000	60,000	140,000	書棚、保管庫、速写機等の新規購入を含む
消 耗 品 費	240,000	240,000	0	新聞雑誌購読料、法規差替料を含む
5 役 務 費	1,558,800	1,558,800	△ 98,000	
印 刷 製 本 費	240,000	240,000	0	事務用、会議用、事業推進用の印刷費及びタイプ料を含む
通 信 運 搬 費	300,000	300,000	0	郵便料、電信電話料、荷造運搬費、電車バス回数券等
光 熱 水 料	50,000	72,000	△ 22,000	電気、ガス、水道料(検定器使用料を含む)
借 料 損 料	684,000	684,000	0	事務所借上料 月550,000円、その他使用損料
雑 役 務 費	382,000	262,000	120,000	備上賃金、諸手数料、清掃料、付加税、謝礼金等の雑費
2 会 議 費	500,000	420,000	80,000	
1 総 会	100,000	70,000	30,000	総会、代議員会、理事会、常務理事会及び関係団体合同会議の会場
2 役 員 会	200,000	150,000	50,000	借上料、速記料
3 諸 会 議	200,000	200,000	0	食事、茶菓子料、その他会場雑費等
3 事 業 推 進 費	11,097,000	8,980,000	11,700	
1 委 員 会 費	400,000	250,000	50,000	各委員会の運営費
2 調 査 研 究 費	300,000	200,000	100,000	調査及び研究諸費
3 資 料 整 備 費	100,000	70,000	30,000	資料用図書雑誌類の購入費、統計、翻訳、複写等の料金
4 渉 外 費	3,097,000	3,780,000	△ 683,000	
国際病院連盟費	100,000	120,000	△ 20,000	年会費 581
地方協力費	1,497,000	2,280,000	△ 783,000	
渉外雑費	600,000	300,000	300,000	病院緑化運動協力費その他
4 広 報 費	7,045,000	1,490,000	5,555,000	
1 会 報 発 行 費	5,000,000	1,440,000	3,560,000	日本病院協会々報毎月15日1回発行費
2 資 料 刊 行 費	1,945,000	-	1,945,000	単行冊子5種、治療ガイド3種発行費
3 広 報 雑 費	100,000	50,000	50,000	報道クラブ費等
5 学 会 費	100,000	50,000	50,000	
1 日本病院学会費	100,000	50,000	50,000	第13回日本病院学会(札幌)
6 予 備 費	375,105	346,880	34,047	
1 予 備 費	375,105	346,880	34,047	
歳出総額	13,729,005	7,244,288	6,484,717	

(資料 4)

昭和 3 7 年 度 歳 入 歳 出 予 算 案

(37. 4. 1 ~ 38. 3. 31)

社団法人 日 本 病 院 協 会

歳 入 の 部

歳入科目 款項目	本年度(37) 予算額 円	前年度(36) 予算額 円	前年度に 比較増減(Δ)円	説 明
1 会 費	5,862,445	6,126,787	Δ 264,342	
1 本年度会費	4,560,400	4,030,100	530,300	会費基準額4,000円及び附加額前年度と同じ
2 過年度会費	1,302,045	2,096,687	Δ 794,642	
前年度会費	1,209,030	1,611,040	Δ 402,010	36年度予算計上4,030,100円の30%相当額
前々年度以前会費	93,015	485,647	Δ 392,632	35年度決算報告の未収額1,860,308の5%相当額
2. 寄 付 金	1	1	0	
1 寄 付 金	1	1	0	
3. 雑 収 入	1,100,000	876,000	224,000	
1 雑 収 入	1,100,000	876,000	224,000	
雑 収 入	500,000	276,000	224,000	職業紹介料、各ドック手数料等、事業用資料頒布料、預貯金利息等
広 告 料	600,000	600,000	0	毎月会報掲載依頼の広告料
4. 繰 越 金	28,1842	265,435	16,407	
1 繰 越 金	28,1842	265,435	16,407	35年度決算額を計上す。但し積立準備金(職員退職手当引当、法令による職業紹介業務保証金3万円)を含む
歳入総額	7,244,288	7,268,223	Δ 23,935	

歳 出 の 部

歳出科目 款項目	本年度(37) 予算額 円	前年度(36) 予算額 円	前年度に 比較増減(Δ)円	説 明
1. 事 務 費	4,351,600	4,591,628	Δ 240,028	
1 職員給与	2,126,400	1,964,410	161,990	事務局職員5名分(内1名職業紹介業務に従事)
俸 給	1,468,800	1,349,640	119,160	基本給与
諸 手 当	657,600	614,770	42,830	期末手当、時間外手当等の諸手当
2 厚生費	127,200	119,218	7,982	事務局職員退職手当引当金及び健康保険料
3 旅費交通費	240,000	400,000	Δ 160,000	役員及び職員旅費
4 物品費	300,000	550,000	Δ 250,000	
備 品 費	60,000	310,000	Δ 250,000	一般備品の外備付区画購入費、物品修繕費を含む
消 耗 品 費	240,000	240,000	0	一般備品のほか新聞紙類印刷料法規整料を含む
5 役務費	1,558,000	1,558,000	0	
印刷製本費	240,000	240,000	0	会議、事業用資料の印刷費及びタイプ料を含む
通信運搬費	300,000	300,000	0	郵便料、電信電話料、荷送運賃、電車・バス回数券等
光熱及び水料	72,000	72,000	0	電気、瓦斯、水道料(検定額使用料を含む)
借料及び損料	684,000	684,000	0	事務所借上料月55,000円、その他使用料
雑役務費	262,000	262,000	0	備上賃金、諸手数料、清掃料、謝礼金、食糧費、広告料、都民税、町内会費等の雑費
2. 会 議 費	420,000	420,000	0	会場借上費、通訳料、会場物品、茶菓招待費等
1 総 会	70,000	70,000	0	総会会場費
2 役 員 会	150,000	260,000	Δ 110,000	代議員会、理事会、常務理事会の会場費
3 諸 会 議	200,000	90,000	110,000	関係団体合同会議等の会場費
3. 事 業 推 進 費	898,000	890,000	8,000	
1 委員会費	250,000	350,000	Δ 100,000	病室改善委員会、病室改善委員会、広報委員会、臨床予防医学委員会、その他委員会及び各委員会の料会、諸会費等
2 調査研究費	200,000	100,000	100,000	病室改善の統計、調査、研究用諸費
3 資料整備費	70,000	70,000	0	資料用の区画修繕購入費、翻写料、複写料等
4 渉外費	378,000	370,000	8,000	
国際病院連盟費	120,000	120,000	0	
地方協力費	228,000	200,000	28,000	当年度分会費予算額456万円の5%額
病院新設運動協力費	30,000	50,000	Δ 20,000	病院新設推進中央協議会事業第3年度
4. 広 報 費	1,490,000	1,310,000	180,000	
1 会報発行費	1,440,000	1,260,000	180,000	日本病院協会会報毎月15日1回発行
編集印刷費	1,200,000	1,120,000	80,000	編集費及び印刷費
送 達 諸 費	240,000	140,000	100,000	封皮、地方発送送料等
2 広報雑費	50,000	50,000	0	報道クラブ費等
5. 学 会 費	50,000	30,000	20,000	
1 日本病院学会費	50,000	30,000	20,000	第12回日本病院学会(東京)
6. 予 備 費	34,688	26,595	8,093	
1 予 備 費	34,688	26,595	8,093	
歳出総額	7,244,288	7,268,223	Δ 23,935	

(資料 3) 昭和 37 年度事業計画 (案)

社団法人 日本病院協会

昭和 36 年は、病院にとつては多事の年であつて、就中、病院争議の発生、医療費問題の紛糾等のため、騒然たるふん困気の中に終始した筈がある。

適正な診療報酬を策定するためのルールの確立は、当面する皆保険下における病院運営のため、極めて喫緊のことであるが、ひるがえつて、現行病院財政機構の不合理的克服、また頗る重要事に属し、設備投資、看護婦養成等を、たんに患者収入に依存することのないよう、わが国の病院の健全な発展のため、今後、撓まない努力を傾注しなければならない。

看護婦の不足は、世界各国に共通した現象であり、特にわが国においては、近年益々深刻になりつつあるのであるが、本年度においては、本問題の打開のため、政府並びに関係団体との連繋のもとに具体的な方策を打ち出して行かなければならない。

昨年度においては、前年度に引き続き、臨床予防医学活動を活発に推進させるとともに、病院診療管理に関する諸問題の研究討議、病院研究旅行等を実施し、病院機能の向上をめざして、会員の研修を重ねて来たのであるが、本会本来の使命に鑑み、本年度は、更に一層、如上の諸事業を力強く推進する要がある。

これを要するに、昭和37年度においては、前年度継続業の発展を計るはもとより、病院の財政経済の難点打開、看護制度の改善、看護婦の充足、臨床予防医学活動の推進及び病院管理の改善向上に重点を指向し、これに必要な調査研究を実施するとともに、関係制度等の改正につとめ、これら諸事業の達成のため万全をつくすこととする。

事業計画項目

1. 病院財政機構の改善に関する事項
2. 医業実体調査に関する事項
3. 医療従事者の給与調査に関する事項
4. 看護要員不足対策に関する事項
5. 病院の臨床予防医学活動に関する事項
6. 病院の診療、労務、施設等の管理運営の改善向上に関する事項
7. 才十二回日本病院学会開催に関する事項
8. 広報出版活動に関する事項

財 産 目 録

資産の部

昭和37年3月31日現在

現金 手許保有高 2,720

銀行預金 富城銀行本郷支店 141,005

住友銀行神坂店 45,111

187,266

振替貯金 東京貯金局

66,378

供託金 東京法務局

30,000

電話加入権 (811号)-4371番

250,000

什器備品(別 紙)

272,450

資産合計 808,814

負債の部

テキスト納金 48,000

会費納金 8,200

56,200

差引正味資産 752,614

37.3.31

No. 51 紙

什器備品表

品名	単位	数量	購入価格	備考
机	個	9	50,700	
側置	"	3	9,000	
卓子	"	4	20,000	
応接セット	"	6	49,000	
椅子	"	7	36,700	
書棚	"	5	22,600	
ロッカー	"	1	165,000	
キャビネット	"	1	4,000	
宛名印刷機	"	1	5,500	
宛名カード箱	"	1	5,000	
図書	冊	43	5,000	
ストーブ	個	3	22,600	
秤	"	2	3,900	
黒板	"	3	11,200	
グラインダー	式	1	8,250	
新聞受箱	個	1	3,000	鉄製
計			272,450	

以上監査の結果正当なものと認めます。

昭和三十七年五月二十五日

社団法人日本病院協会

監事 矢田城太郎

同 神尾友彦

右承認いたします。

昭和三十七年五月二十五日

社団法人日本病院協会

理事 橋本寛敏

同 神崎三益

同 莊寛

同 多賀一郎

同 塩沢然一郎

理事

久保園善次郎

同 島 清一郎

同 根元 義一

同 小山 武夫

同 片山 弘

同 名倉 英二

同 前田 武雄

同 酒井 威

同 長谷川 敏雄

同 林 直敬

同 服部 達太郎

同 入 貞弥

同 河路 貞夫

同 竹内 信蔵

